

Ⅲ 資 料

1. 教員の学外活動調査

1. 研修会や講座等の講師

県内各地で様々な研修会・講座等の講師として活動した。総従事時間は約 380 時間、受講者総数は約 6000 人（マスメディアを介するものを除く）であった。

研修会・講座等の名称	テーマ	対象
障害者スポーツ指導員初級専門研修会	障害者スポーツの意義と理念	【一】
スポーツボランティアセミナー	健康づくりのための運動－介護予防運動	【一】
公益財団法人宮崎県芸術文化協会	わかりやすく、楽しい古事記	【一】
宮崎県看護協会	古代の出産－日向神話を中心に－	【一】
宮崎県タクシー協会	日向神話の魅力	【一】
宮崎県立図書館	みやざきの言の葉	【一】
宮崎市佐土原歴史資料館	郷土を学ぶ	【一】
都城市市民大学講座	日向神話と都城盆地	【一】
NPO法人都城歴史と文化のまちづくり会議	大館晴勝と都城の幕末	【一】
神話のふるさと県民大学	日向神話の魅力	【一】
明治大学・宮崎県連携講座	日向神話の舞台～朝日の直刺す・夕日の日照る国～	【一】
高等教育コンソーシアム宮崎	それぞれの日向神話	【一】
2013 年度宮崎県立看護大学公開講座	予防医学へのいざない～生活力アップで病気予防	【一】
油津商店街復興支援事業講演会	あぶらつ笑店街 Dr.エトーの元気になる健幸講演会 ①健康長寿7か条、②ストレスとからだ、③高血圧と仲良くなるろう	【一】
保育所父母の会	-	【一】
MRT「サンデーラジオ大学」	思春期の心とからだ	【一】
MRT「明日が見えるラジオ」	月経ヘルスケアプログラムなど	【一】
宮崎市学術研究振興事業助成研究報告会 パネルディスカッション(パネリスト)	パネルディスカッション「布ナブキン Life 私たちの取り組み」	【一】
陶芸教室	陶芸制作	【一】
Saturday Morning Citizens of Miyazaki English Class	英語でフリートピック会話	【一】
公開講座(あかえ子育てフェスタ)	月経ヘルスケアプログラム	【一】
宮崎県看護協会、宮崎県国民健康保険診療施設 連絡協議会	文章表現	【看】
えびの共立病院	古代の出産儀礼	【看】
基礎1 看護論研修	ナイチンゲール看護論を学ぼう	【看】
宮崎県看護協会認定看護管理者研修 同上(セカンドレベル)	人材育成論 人材を活かす看護マネジメント	【看】
慈恵医大病院エデュケーションナース研修	看護実践の倫理	【看】
慈恵医大病院看護監督者研修	看護管理過程と目標管理	【看】
感染管理スキルアップ研修	微生物概論・感染を起こしやすい微生物・エビデンスに基づく 感染予防	【看】
保健指導者研修会	PDCA サイクルを回して保健指導の向上をめざす PDCA を回す保健指導評価について	【看】
平成 25 年度宮崎県保健師助産師看護師等実習 指導者講習会	看護教育課程(指定規則 カリキュラムの変遷 大学教育課程)	【看】
平成 25 年度認定看護管理者教育ファーストレベル	看護専門職の役割と機能	【看】
第 24 回宮崎県国保地域医療学会	心豊かな地域医療の実践を目指して～スキルアップ～	【看】
平成 25 年度公開研修「実習指導者研修」	よりよい実習効果をあげるためには	【看】
宮崎県看護協会	ナイチンゲール看護論	【看】
宮崎県看護協会実習指導者養成講習	看護過程(ナイチンゲール)	【看】
宮崎県病院局 2 年目研修	看護過程	【看】

対象区分:【一】一般 【看】看護職者 【学】小中高等学校関係 【施】児童、高齢者等の施設職員 【他】その他

研修会・講座等の名称	テーマ	対象
宮崎県立延岡病院リエゾン看護	対象のとらえ方	【看】
ハートランド信貴山看護専門学校	精神科看護について	【看】
インドネシア看護師のための看護セミナー	看護の自己評価・高齢者の精神看護	【看】
日本精神科看護技術協会宮崎県支部研修会	精神科におけるコミュニケーションの原理	【看】
野崎病院看護部研修会	看護研究の基礎	【看】
宮崎県立病院等局看護職員研修会	基礎コースⅡ「看護過程」	【看】
訪問看護研修STEP1	訪問看護の役割・機能・特性	【看】
平成25年県立病院等看護職員研修専門領域コース「摂食・嚥下障害看護」	家族看護の理解	【看】
平成25年県立病院等看護職員研修専門領域コース「摂食・嚥下障害看護」	在宅療養支援	【看】
保健師の力育成事業(新任保健師研修Ⅰ)	保健師活動の今後の取り組みに向けて—アクションプランの実際を学ぶ—	【看】
保健師の力育成事業(新任保健師研修Ⅰ)	面接技術	【看】
保健師の力育成事業(中堅保健師研修Ⅰ)	地域の健康課題をどう見出す?～地域診断に取り組もう	【看】
保健師の力育成事業(中堅保健師研修Ⅰ)	PDCAサイクルと保健師活動評価	【看】
保健師の力育成事業(中堅保健師研修Ⅱ)、保健師職能集会	今の、これからの保健師活動を語り合おう	【看】
保健師の力育成事業(リーダー保健師研修)	文献検索の意義と検索の方法	【看】
	後輩の力を引き出すために—PDCAサイクルと保健師活動評価・アクションプランの指導方法—	【看】
保健師の力育成事業(リーダー保健師研修)	保健師活動を発展させる研究の方法	【看】
准看護師交流会	はじめての小論文	【看】
日本母子看護学会	母親を笑顔にする力	【看】
夜間小児救急電話相談	-	【看】
助産師の仕事研究会	母乳育児支援の基本	【看】
宮崎県実習指導者講演会	助産師課程について	【看】
宮崎県看護協会:看護研究研修	看護研究—基礎編—	【看】
若草病院内現任教育研修	実習指導	【看】
県立病院等看護職員研修	基礎コースⅡ「看護過程」	【看】
看護力再開発講習会(技術演習コース)	移動の動作の援助	【看】
宮崎県看護協会研修	感染管理「基礎編」	【看】
宮崎県看護協会研修	組織で取り組む感染管理「実践編」	【看】
記紀みらい塾	木花に伝わる神話	【学】
宮崎県教育職員免許法認定講習	公衆衛生学	【学】
宮崎県養護教諭研究会研修会	こころの病の見つめ方	【学】
日南地区小中学校養護教諭研修会	保健室における救急法	【学】
学校保健委員会	健康の法則	【学】
宮崎市保健主事部会研修会	笑顔輝く子ども達のために	【学】
三股町立三股中学校:月経ヘルスケアプログラム出前講座	生理のみかた☆輝く女性へ	【学】
月経ヘルスケアプログラム公開講座(都城、宮崎)	生理のみかた☆輝く女性へ	【学】
串間市立北方中学校:学校保健委員会講師	思春期のこころとからだ	【学】
宮崎県立宮崎北高校、宮崎大宮高校、福島高校:性教育講話	あなた、そして私を大切にすること～性と生の問題から～	【学】
宮崎県高等学校教育研究会養護部会都城地区会	月経ヘルスケアプログラムについて	【学】
宮崎市立宮崎東中学校	思春期のこころとからだ～命～	【学】
日南市立酒谷中学校、都城泉ヶ丘高校附属中学校:性に関する教育講演	輝く未来にむけて～思春期の心とからだ～	【学】

対象区分:【一】一般 【看】看護職者 【学】小中高等学校関係 【施】児童、高齢者等の施設職員 【他】その他

研修会・講座等の名称	テーマ	対象
日南市小・中学校養護教諭研修会	救急処置	【学】
出前講座(三股中学校)	月経ヘルスケアプログラム	【学】
第9回九州地区高等学校英語ディベート大会	英語ディベート	【学】
第9回宮崎県高等学校英語ディベート大会	英語ディベート	【学】
酒谷中学校、油津中学校、日章学園中学校生目南中学校、吾田中学校、あおき中学校 思春期保健教室	禁煙は愛です あなたにできること	【学】
富島高校、宮崎日大高校、日南振徳高校 エイズ予防特別講義	高校生に必要なエイズ予防対策	【学】
2013年度摂南大学薬学部公開講座	地域医療における薬剤師の役割～服薬指導から服薬支援へ	【他】
2013年度島電工安全衛生大会	作業現場における暑熱環境対策	【他】
平成25年度宮崎県医師会産業医研修会基礎研修	産業現場における健康保持増進	【他】
平成25年度労働安全衛生コンサルタント九州大会	企業における受動喫煙防止対策	【他】
産業医養成講座	産業医に必要な労働衛生法規の知識	【他】
産業医養成講座	メンタルヘルス不調の労働者の事例検討	【他】
産業医養成講座 幹部職員研修	職場における喫煙対策・分煙対策	【他】
	想像力が人生を創造する	【他】
宮崎県ペアレントトレーナー養成講座:子どもの発達と保護者支援に関する講話	家族の大切さ～家族により育まれる自己肯定感～	【他】
宮崎タクシー	日向神話の舞台	【他】
宮崎県私学教育振興会	教材としての日向神話	【他】
宮崎県農業土木耕友会	古代の土木事業にみる思想	【他】
日経懇話会	日向神話と宮崎の神楽	【他】
ヨーガ療法学会	妊婦とヨーガ:その効果と現代女性にとっての意味	【一】【看】
月経ヘルスケアプログラム公開講座(日南、宮崎)	生理のみかた☆輝く女性へ	【一】【学】
ロコモティブ研修会	ロコモティブシンドロームって何?	【一】【施】
幸せホームあすか一周年記念講演会	ともに生きる	【一】【施】
宮崎県農林年金受給者連盟小林支部例会 基調講演	生活習慣病の予防と克服～元氣あふれる病氣との付き合い方	【一】【他】
平成25年度九州結核予防婦人部研修会	禁煙は愛です～笑顔で禁煙・しあわせ応援	【一】【他】
平成25年度宮崎県水土里ネット幹部研修会	生活習慣病の予防と克服～元氣あふれる病氣との付き合い方	【一】【他】
宮崎県農林年金受給者連盟日向支部例会基調講演	生活習慣病の予防と克服～元氣あふれる病氣との付き合い方	【一】【他】
平成25年度 宮崎県安全衛生大会基調講演	人が元氣、企業が元氣	【一】【他】
MLBA 研究会	学部教育の新たな展開 仕事の意義を求めて	【一】【他】
平成25年度宮崎県青果市場連合会 役員研修会	青果市場特有の関連疾患の予防と悪化防止	【一】【他】
平成25年度陸上自衛隊都城駐屯所安全衛生大会	転出入者のストレス対策、復職支援について	【一】【他】
平成25年度 JA 宮崎中央婦人部会総会	Dr.エトーの元氣が出る健幸講演会～健幸長寿7ヶ条	【一】【他】
平成25年度 JA 宮崎中央佐土原婦人部会総会	Dr.エトーの元氣が出る健幸講演会～健幸長寿7ヶ条	【一】【他】
第46回宮崎県農林年金受給者連盟通常総会基調講演	生活習慣病の予防と克服～元氣あふれる病氣との付き合い方	【一】【他】
健幸体操専門研修会	特になし	【看】【施】
門川町学校保健委員会保健学習会	児童生徒の自尊感情を高めるために	【学】【他】
宮崎県立宮崎南高校:性教育講話	あなた、そして私を大切にすること～性と生の問題から～	【学】【他】
三股町立三股中学校:性に関する教育講演	輝く人になりましょうー思春期の心とからだー	【学】【他】
日向市学校保健大会	あなた、そして私を大切にすること	【学】【他】
日南市立東郷小中学校:学校保健委員会教育講演	かけがえのない大切な命～思春期の心とからだ～	【学】【他】
西都市立三財小中学校、串間市立福島中学校、立志式講演会	輝く未来にむけて～思春期の心とからだ～	【学】【他】
第3回あかえ子育てフェスティバル	～生理のみかた☆輝く女性へ～	【一】【学】 【他】
精神疾患及び障がい理解する市民講座	精神疾患の理解と地域生活を支える AtoZ	【一】【施】 【他】
都城市自殺予防講演会「ささえあうところといのち」	気づこう心と体のサイン、ストレスケアで心地よい人生を送ろう	【一】【看】 【学】【施】
2014 小林自殺予防フォーラム ～命を守る 1000人の集い	地域職場家族で取り組む自殺予防「幸せに生きる」	【一】【看】 【学】【施】

対象区分:【一】一般 【看】看護職者 【学】小中高等学校関係 【施】児童、高齢者等の施設職員 【他】その他

2. 研修会や講座等における講師以外の活動

学会での座長、研修会での司会や進行役、事例検討会でのファシリテータや助言者、その他 運営スタッフなどとして活動した。総従事時間は約 690 時間、対象となる研修会や講座等の受講者総数は約 7500 人（マスメディアを介するものを除く）であった。

研修会・講座等の名称	役割
看護科学研究学会 事例検討会	【ファ】
県立日南病院 院内事例検討会	【助】
善仁会・市民の森病院 事例検討会	【助】
看護科学研究学会 看護管理研修	【助】
宮崎県看護協会認定看護管理者研修	【助】
第 4 回九州在宅医療推進フォーラム	【運営】
日本労働安全衛生コンサルタント会九州・沖縄ブロック会議 in 宮崎	【司】【ファ】【運営】
第 5 回宮崎県民医学フォーラム	【司】【ファ】【運営】
平成 25 年 宮崎キョアケアネットワーク 市民参加型フォーラム	【ファ】【運営】【他】
産業医養成講座	【司】【ファ】【運営】
保健指導者研修会	【助】
平成 25 年度看護職者のための看護力再開発講習会(技術演習コース)	【他】
平成 25 年度感染管理スキルアップ研修会	【運責】【司】【ファ】
平成 25 年度宮崎県立看護大学感染管理 スキルアップ研修会 出前講座(延岡、日南、都農)	【運責】【司】【ファ】
看護科学学会 学術集会	【司】【運営】
宮崎県内の医療機関に勤務する看護職者の看護実践能力向上のための実践・研究支援事業 日南病院:事例検討会	【助】
看護科学研究学会宮崎例会	【司】【運営】【助】
都城市郡医師会病院	【助】
延岡病院リエゾン看護グループ事例検討会	【助】
看護科学研究学会事例検討会(岐阜、春日井、東北、宮崎)	【助】【ファ】
野崎病院、井上病院 事例検討会	【助】
准看護師研修・交流会「准看護師から看護師へのステップー進学支援と小論文作成の実際」	【ファ】
保健師職能研修会「中堅保健師としての役割～コンサルテーション事業を受講して見えてきたこと」	【助】
宮崎県保健師現任教員推進研修会	【司】
保健師の力育成事業(新任保健師研修Ⅰ・Ⅱ、中堅保健師研修Ⅰ・Ⅱ、リーダー保健師研修)	【司】【助】【運営】
保健師職能研修会グループワーク	【司】【運営】
日本母乳の会ワークショップ	【司】【助】【ファ】
BFH 病院審査	【運営】
子育てフェスタ	【運営】
助産師の仕事研究会研修会	【司】【助】【運営】
全国助産師教育協議会単発研修会	【運営】
宮崎県助産師会新人研修会	【ファ】【運営】
日本小児看護学会第 23 回学術集会 口演	【司】
日本小児がん看護学会第 11 回学術集会 口演	【司】
宮崎県看護研究学会 口演	【司】
県立宮崎病院 看護部事例検討会	【助】
宮崎県立看護大学急性期看護セミナー (急性期領域における家族看護、フィジカルアセスメントと緩和ケアに焦点をあてて)	【司】【運営】
宮崎県急性期看護事例検討・学習会	【司】【助】【ファ】【運営】
平和台病院事例検討会	【他】
宮崎いきいき健康体操専門研修会	【助】
アレルギー講演会	【司】【運営】
療育センターの事例検討会	【他】
子育て講演会	【他】
看護協会の研修運営	【司】【運営】
シンポジウム へんけん・じんけん・にんげん	【司】
自主上映会「むかし Matto の町があった」	【助】【運営】
ガン予防に関する講演会	【運営】
木脇中学校 健康教育	【司】

対象区分：【司】司会進行【助】助言者【ファ】ファシリテータ【運責】運営責任者【運営】運営スタッフ【他】その他

研修会・講座等の名称	役割
日向市高齢者クラブ	【司】
看護力再開発講習会	【ファ】【運営】
翼の会講演会	【運営】
日本感染管理ネットワーク地方会(九州)	【ファ】
宮崎県立看護大学 公開講座 生活に密着した感染予防対策	【司】【運営】
その他	-

対象区分：【司】司会進行【助】助言者【ファ】ファシリテータ【運責】運営責任者【運営】運営スタッフ【他】その他

3. グループ組織や団体等の支援

グループ組織、団体の名称	内容
アミノバリューランニングクラブ	ランニング指導
宮崎・翼の会(がん患者・家族の会)	例会支援
宮崎生協病院・院内研究会議	院内研究計画への助言
障がい者就労継続支援(B型) フラワーパークのぞみ工房	職業指導員・生活支援員に対する精神障がい者の見つけ方やかわり方の学習支援
日南市地域包括支援センター保健師等の学習会	地域診断ほか
赤江地域まちづくり推進委員会	イキイキ健康茶屋(介護予防)
助産師の仕事研究会の主催	研修会・交流会
赤江地域まちづくり推進委員会	思春期移動相談 アドバイザー
宮崎県・みやざき子育て応援フェスティバル	子育て支援(おもちゃ広場)
清武児童文化センター	子育て支援(おもちゃ広場)
キャンサーヘルプネット宮崎	県民対象のがん予防研修会開催の支援
グットイみやざき	おもちゃを通じた子育て支援グループ
精神障がい者自立支援ネットワーク・宮崎	精神医療を考える会
若草病院デイケア	デイケアメンバーへの支援
宮崎市 宮崎いきいき健幸体操 DVD 撮影	監修、説明音声収録
宮崎ケーブルテレビ 宮崎いきいき健幸体操 番組制作	監修

4. 研究支援

1) 自治体・企業等との共同研究(共同研究・委託研究)

共同した自治体・企業名	研究テーマ
日南市	日南市中心市街地活性化について
都城市	都城市豊かな超高齢社会まちづくり戦略プラン
宮崎県	宮崎県エイズ予防キャンペーン
小林市	小林自殺予防対策
都城市	都城自殺予防対策
日本母乳の会	乳房・乳頭ケアの実態と必要性
宮崎市長寿支援課	「宮崎いきいき健幸体操」に関する連絡協議会
延岡保健所	感染管理に関する実践能力の向上を目指した出前方式体験型研修の有用性と看護師による感染管理ネットワークへのニーズ調査

2) 看護研究指導

グループ組織、団体の名称
県立日南病院 脳外科病棟
日南病院看護師自治会看護研究 コンサルテーション
都城市郡医師会病院
野崎病院
宮崎生協病院
谷口病院
新生病院
藤元病院
宮崎精神医療センター
県立こども療育センター

5. 進路相談会・進学説明会および模擬講義

	従事職員延数	従事延回数
進路相談会	54	24
進学説明会	8	3
模擬講義	12	11

6. 非常勤講師等

学校名
聖マリア学院大学大学院
梅花女子大学
宮崎公立大学
国立大学法人宮崎大学
ICHメディカルセンタービンタロー看護大学
放送大学
宮崎医療福祉専門学校
宮崎保健福祉専門学校
藤元メディカルシステム付属 医療専門学校

7. 各種委員等

< 県内委員 >

役職名	会の名称
顧問	宮崎県障害者スポーツ協会
	全国保健協会宮崎支部
会長	健康支援友の会
	宮崎県国民健康保険運営協議会連絡会
	宮崎県男女共同参画審議会
副会長	宮崎県後期高齢者医療広域連合運営懇話会
	公益社団法人宮崎県看護協会
会計監査 副理事長	公益社団法人宮崎県看護協会新任看護職員研修推進協議会
	宮崎地域インターネット協議会
理事	一般財団法人宮崎陸上競技協会
	青島太平洋マラソン実行委員会
	延岡西日本マラソン実行委員会
	宮崎県医師会産業医部会
	日本労働安全衛生コンサルタント会宮崎支部会
	宮崎県母性衛生学会
宮崎県助産師会	
宮崎県立看護大学看護学研究会	

役職名	会の名称
監事	宮崎県立看護大学看護学研究会
幹事長	禁煙ピアサポート IN みやざき
幹事	宮崎西高宮崎県医師の会 九州小児看護教育研究会
委員長	宮崎市国保運営協議会委員 宮崎県保健師現任教育マニュアル検討会 みやざきの神楽魅力発信委員会
委員	医の倫理委員会（宮崎大学医学部） みやざきの神楽魅力発信委員会 日本精神科看護技術協会 宮崎市上下水道事業経営審議会 宮崎大学病院 治験審査委員会 宮崎東諸県地域職域連携推進協議会 宮崎県看護協会学会委員会 宮崎県開発審査会 宮崎市高齢福者福祉計画等推進協議会 宮崎県プライマリケア研究会 中央保健所運営連絡協議会 高鍋保健所運営連絡協議会 地域・在宅ケア推進委員会 宮崎県立看護大学看護学研究会第7回学術集会 宮崎県国民健康保険審査会 宮崎県訪問看護推進協議会 日本看護学会・看護管理・学術集会準備委員会 宮崎市保健所運営協議会 宮崎県社会教育委員会 宮崎大学教育文化学部附属幼稚園評議会 宮崎県助産師会 教育委員会 宮崎県看護協会 実習指導者講習会検討委員会 宮崎県看護協会教育委員 県立看護大学同窓会
評議員	公益財団法人宮崎県体育協会
アドバイザー	宮崎県記紀編さん1300年記念事業企画運営委員会 都城島津発祥まつり実行委員会
各種選考委員	非公開
各種審査会委員	非公開
その他	—

< 県外委員 >

役職名	名称
副会長	看護科学研究学会
理事	九州陸上競技協会 日本スプリント学会 古事記学会 看護科学研究学会 ナイチンゲール看護学会 看護科学研究学会 日本母子看護学会 日本母乳の会
委員	公益財団法人日本陸上競技連盟 (社) 大学英語教育学会(JACET) 外国語メディア教育学会(LET)

役職名	名称
委員	外国語メディア教育学会(LET)
	風土記研究会
	全国大学国語国文学会
	第45回日本看護学会看護管理
	日本看護科学学会 学術用語検討委員会
	文部科学省大学設置分科会
	日本母乳シンポジウム 準備委員会
	全国助産師教育協議会 生涯教育研修委員会
	日本助産学会第 28 回学術集会
	日本小児看護学会 倫理委員会
	ナイチンゲール研究学会
	日本救急医学会九州地方会雑誌編集委員会
評議員	日本感染看護学会
	京都大学高等教育研究開発推進センター MOST フェロープログラム
第 3 期 MOST フェロー	

2. 宮崎県立看護大学看護研究・研修センター概要

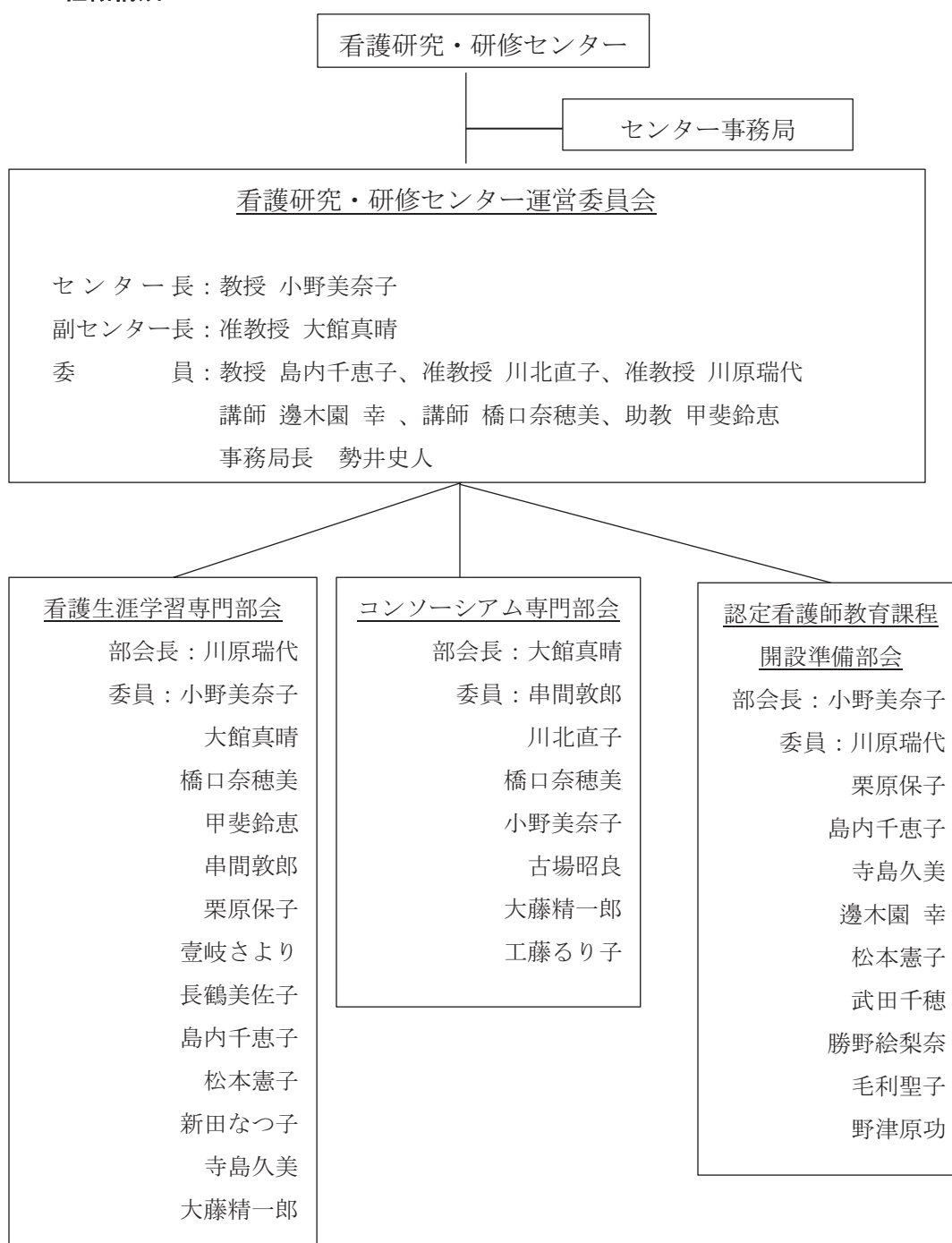
1. 目的

センターは、全学の協力のもとに、看護生涯学習に関して調査、研究及び教育を行うとともに、地域との交流の促進を図り地域社会の発展に寄与することを目的とする。

2. 業務内容

- 1) 地域における看護生涯学習活動の推進に関すること。
- 2) 高等教育コンソーシアム宮崎に関すること。
- 3) その他センターに関する重要事項に関すること。

3. 組織構成



3. 宮崎県立看護大学看護研究・研修センター規程

(趣旨)

第1条 この規程は、宮崎県立看護大学学則第3条の2第2項の規定に基づき、宮崎県立看護大学看護研究・研修センター(以下「センター」という。)の組織及び運営に関し必要な事項を定める。

(目的)

第2条 センターは、全学の協力のもとに、看護生涯学習に関して調査、研究及び教育を行うとともに、地域との交流の促進を図り地域社会の発展に寄与することを目的とする。

(所掌事務)

第3条 センターの所掌事務は、次のとおりとする。

- (1) 地域における看護生涯学習活動の推進に関すること。
- (2) 高等教育コンソーシアム宮崎に関すること。
- (3) 認定看護師教育課程に関すること。
- (4) その他センターに関する重要事項に関すること。

(職員)

第4条 センターに、次の職員を置く。

- (1) センター長
- (2) 副センター長
- (3) 専任教員
- (4) 兼任教員
- (5) その他センター長が必要と認める者

(センター長)

第5条 センター長は、センターを統括する。

- 2 センター長は、本学専任の教授の中から学長が教授会の意見を聞き選考する。
- 3 センター長の任期は2年とし、再任を妨げない。
- 4 センター長に欠員を生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(副センター長)

第6条 副センター長はセンター長を補佐する。

- 2 副センター長は、教員の中からセンター長の推薦により学長が委嘱する。
- 3 兼任教員の任期は2年とし、再任を妨げない。
- 4 兼任教員に欠員を生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(専任教員)

第7条 専任教員の選考については、別に定める。

(兼任教員)

第8条 兼任教員は、センター長の推薦により学長が委嘱する。

- 2 兼任教員の任期は2年とし、再任を妨げない。
- 3 兼任教員に欠員を生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(事務局)

第9条 センターに事務局を置く。

(認定看護師教育課程)

第10条 センターに認定看護師教育課程を置く。

2 認定看護師教育課程に関し必要な事項は、別に定める。

(センター運営委員会)

第11条 センターの運営に係る事項を審議するためにセンター運営委員会(以下「委員会」という。)を置く。(前条の規定に係るものを除く。)

2 委員会に関し必要な事項は、別に定める。

(委任)

第12条 この規程に定めるもののほか、センターの運営に関し必要な事項は委員会の議を経て学長が定める。

附 則

この規程は、平成15年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

4. 宮崎県立看護大学看護研究・研修センター運営委員会規程

(趣旨)

第1条 宮崎県立看護大学(以下「本学」という。)に、宮崎県立看護大学教授会規程第8条及び宮崎県立看護大学看護研究・研修センター規程第11条第2項の規定に基づき、宮崎県立看護大学看護研究・研修センター運営委員会(以下「委員会」という。)を置く。

(所掌事務)

第2条 委員会は、宮崎県立看護大学看護研究・研修センター(以下「センター」という。)の運営に関する次の事項を審議し、実施する。

- (1) 地域における看護生涯学習活動の推進に関すること。
- (2) 高等教育コンソーシアム宮崎に関すること。
- (3) その他センターに関する重要事項に関すること。

(組織)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) センター長
- (2) 本学の専任教員の中から学長が指名する者 若干名
- (3) 事務局長

2 前項第2号の委員の任期は2年とし、再任を妨げない。

3 第1項第2号の委員に欠員が生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第4条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

2 委員長はセンター長をもって充て、副委員長は副センター長をもって充てる。

3 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を行う。

5 委員長及び副委員長共に事故があるときは、委員長が指名する委員が委員長の職務を行う。

(定足数)

第5条 委員会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。

(議決)

第6条 委員会の議事は、出席者の過半数でこれを決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(委員以外の者の出席)

第7条 委員長は、必要があると認める場合は、委員以外の者を会議に出席させ、意見を聴くことができる。

(専門部会)

第8条 委員長の所掌事務を実施するために所掌事務ごとに専門部会を置く。

2 委員長が教職員の中から指名する者をもって組織する。

3 委員長は、専門部会で実施した結果を委員会に報告するものとする。

(事務)

第9条 委員会の事務は、事務局総務課において処理する。

(委任)

第10条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会の議を経て学長が定める。

附 則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

5. 宮崎県立看護大学看護生涯学習専門部会規程

(趣旨)

第1条 宮崎県立看護大学（以下「本学」という。）に、宮崎県立看護大学看護研究・研修センター運営委員会規程第8条第1項の規定に基づき、宮崎県立看護大学看護生涯学習専門部会（以下「看護生涯学習部会」という。）を置く。

(所掌事務)

第2条 看護生涯学習部会は、次の各号に掲げる事項を所掌する。

- (1) 地域における看護生涯学習活動の推進に関すること。
- (2) その他必要と認められる事項に関すること。

(任期)

第3条 部会員の任期は2年とし、再任を妨げない。

2 部会員に欠員が生じた場合の後任の任期は、前任者の残任期間とする。

(部会長)

第4条 看護生涯学習部会に部会長を置く。

- 2 部会長は、看護研究・研修センター運営委員会委員長（以下「委員長」という。）が指名する。
- 3 部会長は、看護生涯学習部会を招集し、その議長となる。
- 4 部会長に事故があるときは、委員長が指名する部会員がその職務を行う。

(定足数)

第5条 看護生涯学習部会は、部会員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。

(議決)

第6条 看護生涯学習部会の議事は、出席者の過半数でこれを決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(部会員以外の者の出席)

第7条 部会長は、必要があると認める場合は、部会員以外の者を会議に出席させ、意見を聞くことができる。

(委任)

第8条 この規程に定めるもののほか、看護生涯学習部会の運営に関し必要な事項は、看護生涯学習部会の議を経て看護研究・研修センター運営委員会が定める。

附 則

この規程は、平成21年5月18日から施行する。

6. 宮崎県立看護大学コンソーシアム専門部会規程

(趣旨)

第1条 宮崎県立看護大学（以下「本学」という。）に、宮崎県立看護大学看護研究・研修センター運営委員会規程第8条第1項の規定に基づき、宮崎県立看護大学コンソーシアム専門部会（以下「コンソーシアム部会」という。）を置く。

(所掌事務)

第2条 コンソーシアム部会は、次の各号に掲げる事項を所掌する。

- (1) 高等教育コンソーシアム宮崎の事業の実施に関すること。
- (2) その他必要と認められる事項に関すること。

(任期)

第3条 部会員の任期は2年とし、再任を妨げない。

2 部会員に欠員が生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(部会長)

第4条 コンソーシアム部会に部会長を置く。

2 部会長は、看護研究・研修センター運営委員会委員長（以下「委員長」という。）が指名する。

3 部会長は、コンソーシアム部会を招集し、その議長となる。

4 部会長に事故があるときは、委員長が指名する部会員がその職務を行う。

(定足数)

第5条 コンソーシアム部会は、部会員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。

(議決)

第6条 コンソーシアム部会の議事は、出席者の過半数でこれを決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(部会員以外の者の出席)

第7条 部会長は、必要があると認める場合は、部会員以外の者を会議に出席させ、意見を聴くことができる。

(委任)

第8条 この規程に定めるもののほか、コンソーシアム部会の運営に関し必要な事項は、コンソーシアム部会の議を経て看護研究・研修センター運営委員会が定める。

附 則

この規程は、平成17年5月16日から施行する。

附 則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

7. 地域貢献等研究推進事業実施要領

第1 目的

この要領は、県立看護大学地域貢献等研究推進事業において、看護大学教員が企画し提案して行う事業の実施に係る手続き等について定める。

第2 事業の種類

(1) 県民連携事業

民間のNPO法人や団体、教育機関等と連携して調査・研究、看護実践、保健活動等を行う事業

(2) 地域看護職等連携事業

地域の医療機関や保健師等と共同で研究、看護実践、保健活動等を行う事業

(3) 地域学術研究振興事業

地域における看護の学術振興等を図る事業

(4) 官学連携事業

県が設定した行政課題に係るテーマについて、調査・研究を行う事業

第3 申請資格

県立看護大学教員とする。

単独で又は複数の教員が共同で申請することができる。（研究において、他の機関の者が共同家研究者となることは構わないが、事業については教員が申請者となる。）

第4 対象となる事業の基準

(1) 共通基準（官学連携事業を除く。）

① 県立看護大学教員のみではなく、民間のNPO法人、保健、医療、福祉に関して活動している団体、教育機関、民間の医療機関、関係機関と連携して実施するものであること。

② その事業が本県の保健、医療、福祉の向上に寄与すると認められるものであること。

③ 事業の趣旨が、県の「新みやざき創造計画」に位置付けられた福祉保健部における施策に関連するものであること。

(2) 県民連携事業に係る基準

事業を実施する地域について、宮崎市内のみで完結しないこと。

（認定にあたっては、県内でこれまで取り組みがなされていない地区において実施する事業が優先される。）

(3) 官学連携事業の基準

県から設定されたテーマの調査・研究であり、その成果について県の評価を受けること。

第5 申請期間

各事業に係る申請期間は、看護研究・研修センター長（以下「センター長」という。）が定める。

第6 申請に必要な書類

- (1) 申請書（様式第1号）
- (2) 事業実施計画書（様式第2号）
- (3) 収支予算書（ 〃 ）

第7 審査委員会の審査

センター長は、各教員から提出された事業実施計画書等を取りまとめ地域貢献等研究推進事業審査委員会に提出する。

審査委員会に係る事項は別途定める。

第8 事業の認定通知

センター長は、企画案及び審査委員会の審査結果を学長に報告し、それに基づき学長が次年度の対象事業を認定する。

第9 申請の取り下げ

申請者は、認定通知を受けて30日以内又は人事異動等により次年度大学職員でなくなる場合に、申請を取り下げることができる。

このとき、学長は、認定に当たり次点の事業があればこれを対象事業として追加認定することができる。

第10 予算枠の配分通知

学長は、当該研究費に係る予算が議決された場合に、議決に基づき対象事業に係る予算枠を通知する。

また、学長は、予算の状況により、対象事業の認定を取り消すことができる。

申請者は、配分された予算枠に不服がある場合には、学長に対し事業の認定取消を求めることができる。（この場合再認定は行わない。）

第11 事業の遂行

予算枠を配分された事業の申請者は、認定された事業計画等に基づき、誠実に事業を遂行するとともに、予算の執行にあたっては法令等を遵守し、公金の適切な処理に努めるものとする。

第12 報告及び調査

学長は、該当予算の執行に関し、必要に応じて報告を徴し、もしくは関係書類の提出を求め、又は実地に調査を行うことができる。

第13 実績報告

事業を実施した者は、実施した年度が終了するごとに、次の様式により実績報告を行う。

- (1) 実績報告書（様式第3号）
- (2) 事業実施報告書（様式第2号）
- (3) 収支決算書（ 〃 ）
- (4) 成果物等

第14 審査委員会への報告

センター長は、提出された実績報告書を取りまとめ、審査委員会に報告し意見を求める。

審査委員会は、実績報告の内容を審査し、必要があれば学長に意見をを行う。

また、事業実績として不十分と認められる場合又は不適正な会計処理が行われていた場合には、当該事業を実施した教員について事業の認定取消及び当該事業を申請した教員の申請資格の停止の意見を学長に提出する。

学長は、審査委員会の意見を踏まえ、1～2年の間、申請資格を停止する。

（不適正な会計処理については、別途適切な対応を行う。）

第15 その他

その他事業の実施について必要な事項は、学長が定める。

第16 施行日

この要領は、平成23年7月1日から施行する。

年報研究報告投稿規程

1 対象とする原稿

- 1) 看護研究・研修センターの地域貢献事業に関する研究であること。
- 2) 倫理的に配慮された研究内容であり、その旨が明記されていること。
- 3) 他の学会誌に投稿していないこと。学会等に発表した報告に加筆して作成したものはその旨を記すこと。

2 投稿手続き

執筆要領に沿って作成後、看護研究・研修センター事務局に提出する。

3 執筆要領

- 1) Microsoft word で作成する。
- 2) 書式のレイアウト（ツールバーのページのレイアウト）は下記のとおり。
 - ①余白：上・下 20 mm 左・右 20 mm
 - ②文字方向：1 段組 横書き
 - ③行数：40 文字数：40
 - ④フォント：文章内は MS 明朝を使用
 - ⑤ページ数：ページ数は問わない
- 3) ページの上部に表題（12P）、キーワード（10.5P）、研究者氏名・所属（10.5P）を記載し、1 行あけて本文を書き始める。
- 4) 本文中の項目立ては、投稿者に一任する。
- 5) 原稿はそのまま印刷するため、図、表、写真等は白黒印刷で判別できる明瞭なものとし、該当する位置に挿入して作成する。
- 6) その他、論文作成上の一般的なルールに沿って作成する。

4 投稿原稿の採否

投稿原稿の採否は、本誌編集委員会の審議により決定する。投稿原稿は原則として返却しない。

5 宮崎県立看護大学リポジトリによる公表

本年報は宮崎県立看護大学リポジトリによる公表を行うものとする。

6 著作権

本年報に掲載された研究論文・その他報告書等の著作権は、看護研究・研修センターに属する。

附 則

この規程は、平成 24 年 5 月 22 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 26 年 4 月 2 日から施行する。

宮崎県立看護大学看護研究・研修センター年報（第3号）

発行日 平成26（2014）年7月

編集 宮崎県立看護大学看護研究・研修センター年報編集委員会

発行 宮崎県立看護大学看護研究・研修センター

〒880-0929 宮崎市まなび野3丁目5番地1

Tel 0985-59-7833

Fax 0985-59-7878

E-mail center@mpu.ac.jp

印刷 株式会社 イースト朝日 宮崎支店

Miyazaki Prefectural Nursing University

Research and Training Center Annual Reports

I Study Reports

- 1 Evaluating an Infection Control Program for Nurses Working in Their Communities:
Analyzing Participants' Awareness on Infection Control through Post-workshop
Questionnaire Results.
Chiho Takeda, Yasuko Kurihara, Erina Katsuno, Miyuki Hekizono
- 2 Results and Significance of a Nursing Skills Workshop in the Return to Practice
Program: A course Evaluation Analysis.
*Kiyoko Mouri, Yasuko Kurihara, Kenji Sakai, Erina Katsuno, Mamiko Hidaka,
Chiho Takeda*
- 3 Viewpoints for Choosing Toys to be Used in Child Care Support Program:
Analyzing Participants' Reports from a Toy Consultant Training Seminar.
Suzue Kai
- 4 Challenges and Direction of Menstrual Health Care Program:
Analysis of the Practice of Three Years.
*Mai Nagatomo, Misako Nagatsuru, Sayori Iki, Miki Fukunaga, Rie Kaguchi,
Megumi Nagatsu, Kiyoko Tamaru*
- 5 The Present State and Challenges of Public Health Nursing Relating to the Improvement
of the Function of Community General Support Centers.
Mizuyo Kawahara, Kayoko Sugita, Chieko Kodama, Minako Ono
- 6 Staff Training Programs to Promote the Understanding of the Mentally Disabled:
Qualitative Analysis of Discussions During Study Meetings for Staff in Support
Workshops for Continuous Employment (Type B).
*Michiko Kawamura, Hiromi Ogasawara, Yoshitomo Fukuura, Makoto Akahoshi,
Kazumi Matsuda*

II Business Reports

III Materials